

大分類.D 技術管理

中分類	小分類	チェックの方法	レベ	診断結果	判定			備考
					H25	H26	H27	
1技術/ 開発の PJ管理	①開発PJ の管理は 適切か	技術管理部門責任者からヒアリング	1	PJはPL任せで特別な進捗管理はしていない。				
		PJ管理一覧表での予実績の確認	2	各PJのランクに合せ、マイルストーン毎に一応技管主催のレビューを開催している。				
		レビュー記録の事例の確認	3	上記レビューにて進捗が明確に把握されている。				
		レビュー記録の事例の確認	4	PJの遅れに対しては、資源を投入しての挽回等適切な意思決定がなされる。				
		プロジェクト進捗管理表で立上り実績確認	5	RJ管理により、商品戦略に沿ったタイミングで商品化が進められている。				
	②固有技術の蓄積を図っているか	技術管理部門責任者からヒアリング	1	固有技術につき全社的な特別な管理はしていない。				
		開発テーマの予実績一覧表の確認	2	取組まれたテーマに関しては、進捗を把握する仕組が一応機能している。				
		技術戦略とテーマの対比確認	3	全社としての技術戦略を描き、それに沿ったテーマアップがなされている。				
		技術管理部門責任者からヒアリング	4	自社の強みを生かしたテーマに開発パワーを集中させ、他者に勝る固有技術を育てている。				
		技術管理部門責任者からヒアリング	5	ナレッジマネジメントにより蓄積した技術が有効に駆使され、更に進んだ技術蓄積につながっている。				
	③特許の管理は万全か	知財部門責任者からヒアリング	1	技術者任せであり、会社としての特別な特許戦略はない。				
		所有特許のリストの確認	2	得たノウハウを拾上げ、可能なもの(必要に応じ公的機関の特許相談も利用)は特許を取得させている。				
		所有特許のリストの確認	3	取得した特許については周辺特許を加え、出来るだけ広い範囲を押さえる様に導いている。				
		特許戦略とテーマの対比確認	4	特許戦略を描き、それに沿った取得が可能な取組みをしている。				
		特許交換の事例の確認	5	特許が蓄積され、他社との特許交換で自社の苦手分野を補強することも出来ている。				
2技術分野のインフラ管理	④ITシステム提供は良好か	技術管理部門責任者からヒアリング	1	開発部隊任せであり、一部の技術者しかCADやシミュレーション等のITシステムを利用していない。				
		ITシステム類の管理規定の確認	2	全社的なシステム管理をしており、普及を図っている。				
		ITシステム類のメンテ記録の事例確認	3	管理しているシステムは時代遅れとならぬ様にメンテされ、普及も進んでいる。				
		組織表、職務分掌の確認	4	先進的システムを導入・推進する専門Grを設け、より高度なレベルを目指している。				
		技術管理部門責任者からヒアリング	5	整備した一連のシステムが有効に活用され、試作レス等の成果が出ている。				
	⑤標準類の整備管理は良好か	技術管理部門責任者からヒアリング	1	技術の標準・基準が文書化・共有化されていない。				
		標準・基準類管理ファイルの目次の確認	2	技術の標準・基準が一応文書化・共有化されている。				
		直近の事例の制定日の確認	3	開発を通じて得られたものをタイミングよく標準・基準に落とし込み、その最新版管理をしている。				
		設計、製造の基準の対比事例確認	4	設計の標準・基準と生産の実力との整合がとられており、物造りの開発がスムーズに進む。				
		技術管理部門責任者からヒアリング	5	会社独自の規格の行き過ぎを管理し、公的な規格もフルに活用して高いレベルのQCDを確保している。				
	⑥技術施設の管理は良好か	技術管理部門責任者からヒアリング	1	技術の実戦部隊任せであり、全社としての特別な施設計画・管理は無い。				
		設備予算管理資料の確認	2	部分最適でなく全社最適とすべく、計画・活用の調整する仕組はあり、一応機能している。				
		施設・設備管理簿の使用記録の確認	3	現有施設の管理状況は良好であり各施設・設備が有効に利用されている。				
		技術・商品戦略と設備計画の対比確認	4	技術、商品戦略と整合した施設・設備計画を描き、また必要に応じ公的試験所もフルに活用している。				
		PJ進捗管理表で立上り実績等確認	5	適切な施設・設備の計画・管理により、技術開発、商品開発が着実に進んでいる。				

3技術分野のコンプライアンス	⑦法的遵守はOKか	技術管理部門責任者からヒアリング	1	法的遵守の意識に欠け、時々問題を起こしている。				
		各国法規の一覧ファイルの確認	2	適用される国内外の技術法規を把握している。				
		通達、説明会開催案内等の確認	3	把握している法規に付き、社内の必要部門に対し周知を図っている。				
		種々の認証等遵守状況の記録確認	4	法的遵守の状況は確実にその記録・保管をしている。				
		技術法規部門責任者からヒアリング	5	技術法規の将来動向を把握し、そこへの対応検討も進んでいる。				
	⑧法への攻めの働きかけはあるか	技術法規部門責任者からヒアリング	1	法的な面は専ら遵守する事に終始している。				
		取組の実施記録の事例確認	2	法の見直し改正に際し、妥当な内容とすべくデータの採取・提供等協力をする。				
		取組の実施記録の事例確認	3	限られた範囲であるが、法改正を要望する具体的な動きも取る。				
		業界連携の事例の確認	4	正当な法改正要望については、所属業界を巻き込んで強力な取組みもする。				
		技術法規部門責任者からヒアリング	5	適切で正当な上記働き掛けにより、自社製品の需要が着実に広がっている。				
	⑨自主規制の管理は適切か	技術法規部門責任者からヒアリング	1	専ら法の遵守に留まり、自主規制は考えていない。				
		自主規制、ガイドライン等の事例確認	2	自ら進んでとまでいかないが、業界の自主規制には歩調を合せている。				
		自主規制、ガイドライン等の事例確認	3	広い意味のコンプライアンスは市場へのアピール材料と捉え、アピールし易いものを自主規制している。				
		業界連携の事例の確認	4	必要なものは同業他社にも働き掛けて自主規制のルールを設け、市場の理解を得ようとしている。				
		技術法規部門責任者からヒアリング	5	顧客重視の視点での自主規制を進め、市場から大きな評価を得ている。				